

シンガポール海外研修報告

教育学科 2年

私がシンガポール海外研修に参加しようと思った動機は二つあります。一つ目は以前から海外に興味があり、シンガポールという国について知りたいと思ったからです。当時、シンガポールについて知っていたことはマーライオンや面積が非常に小さく、赤道直下なため年中暑いというくらいでした。私は以前、アメリカと韓国に行ったことがあり、それぞれの国で異なる影響を受けました。文化や習慣の違い、考え方の違いなど、行ってみなければわからないということに気付かされました。二つ目の理由は、日本以外の教育について知りたいと思ったからです。私は、小学校教員になりたいと思っており、日本の教育制度について現在学んでいます。他の国についてほとんど知りませんでした。しかし、この機会をきっかけに日本とシンガポールの教育を比較し、新たな発見から教養を深めたいと思いました。これらの理由をきっかけにシンガポール海外研修に参加したいと思いました。

ここからはシンガポールで体験したことをもとに、研修に参加して得た知識や考え方など、成果について述べていきます。

シンガポールは他民族国家であり、様々な人種の人があります。そのため、宗教も様々であり、様々な文化が飛び交っています。これは教育現場でも感じました。私たちが訪問した小学校・幼稚園・保育所では、英語以外に自分の母国語の言語を学ぶバイリンガル教育をされていました。子どもたちは幼いころからバイリンガル教育を受けており、中国語を多くの子どもが第二ヶ国語を日常の中から身に付けています。シンガポールでは中国からの移民が多いため、今でも多くの場所で中国語が使われているためだそうです。それぞれの教育施設には英語を話す教員、中国語を話す教員がそれぞれいて子どもたちは当たり前のように聞き分けていました。これは日本ではあまり見られないこと光景です。まず、日本では第二ヶ国語として英語を小学生の時に少しずつ学び始めます。この違いの原因は、日本は日常生活で英語が必要な機会が少なく、シンガポールでは中国語が街中で頻繁に使われるためだからだと考えました。このように、人種の多さの違いで教育の仕方も変わってくるということを知ることができました。また、特定の信者が通う学校もあり、日本より多種類の宗教が身近に感じることができ、理解し合える環境があると思いました。

シンガポールは2015年経済協力開発機構（OECD）による、国際的な生徒の学習到達度調査（PISA）で首位という成績を修め、高い学力が評価されました。2015年より前の調査結果を見てみると急激に順位が上昇しています。私はこの結果からシンガポールでの授業内容について興味を持っていました。事前に調べたところ、小学6年生のときにPSLEという大きなテストがあり、この結果によって進路が決まるなど、日本では大学入試時のようなことを小学生が行っていることを知り衝撃を受けました。また、日本で問題になっているいじめは、シンガポールではいじめをする暇がないので少ないという情報もありました。この情報を知ってからより興味をもちました。そして、実際に小学校に訪問してみると私が想像していたものとは大きく違っていました。子どもたちは学ぶことを楽しんでいました。学びたいこと自らが選択し、進んで学んでいました。学校には子どもたちが多くの選択肢を持てるように、通常の教室だけでなく、ダンス専門の教

室、体操専門の体育館など充実した施設があり、とても良い環境だと思い、またこれが幼稚園・保育園でもみられたことは衝撃でした。教室の中に中国語、算数、理科などのブースがあり、そこでは自分が好きなことを遊びのように学ぶことができるスペースが設けられてい



です。私は日本の小学校でもあまり見られない自発的な学習に関心を持ちました。従って、私はシンガポールの高い学力は、早期教育や子どもが自ら学べる環境（教員や施設）によって支えられていると思いました。

小学校や保育所で交流会をした時には、私たちの英語が完璧でなくても、ジェスチャーで会話することもあり新鮮な体験でした。子どもたちと折り紙を折ったときには、次はどう折るのか質問され、日本の絵本を使って遊んだ時には子ども自らがお題を出すなど、好奇心溢れる姿が印象深かったです。子どもたちから歌のプレゼントをいただき、別れ際には「Thank you!」と満面の笑みであいさつをしてくれたのがとても嬉しく、社交的だと思い、思い出深い経験ができたと思います。

シンガポールは様々な文化があり、またその文化が混合しシンガポールの文化を生み出しています。シンガポールでは英語が多く使われているが「singlish」というようにシンガポール特有の訛りのある言語があります。今回、初めてシンガポールという多くの人種が集まってできた国を訪問し一番思ったことは、皆が理解し合っているということです。シンガポールにはお互いを尊重し合える環境があると思いました。

今回、海外教育研修という貴重な機会を設けて下さり心から感謝申し上げます。この機会を活かし、またシンガポールだけでなく他の国にも関心を持ちより良い教育者の一員になれるように勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。



↑ 教員の方々と対談（幼稚園）



↑ 幼稚園の前で写真撮影



↑ 子どもたちの授業に参加させていただきました。
（作ったものの写真）（小学校）



↑ 保育園で交流会をさせていただきました